政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	1－1　豊かな自然を守り、はぐくむ
施策	1－1－1　緑と水辺の保全・活用

指標NO	4

指標名	谷津田の保全活動等の参加者数	単位	人

指標の説明	大草谷津田いきものの里における田んぼや森づくり、動植物調査の活動者や大草観察会の参加者数、および新たに保全活動を推進する谷津田における活動への協力、参加者数	担当局（区）	環境局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	440	470	500	◎
現状値	409	519	－	－	

目標設定の考え方	大草谷津田いきものの里のボランティア活動や定期観察会への参加者の確保を引き続き図るとともに、小倉地区や大藪池地区等において谷津田保全の活動協定を結び、谷津田保全活動への協力・参加者数の確保に努める。

【達成状況の分析】

平成26年度に新たに2団体と活動協定を締結したこと、大草自然観察会が例年に比べ天候に恵まれ中止とならずに開催でき、1回あたりの参加者も多かったこと、小倉地区での自然観察会を始めたこと、などにより計画以上に保全活動等に参加する人数が増加した。

【課題及び今後の取組みの方向性】

平成26年度末で、最終の目標値を達成しているが、自然観察会はその年の天候等により参加者が増減するので、開催場所や内容を適宜見直しながら魅力ある観察会等を行っていく必要がある。
一方、谷津田の保全活動を行う活動団体への参加者は、観察会と異なり年間を通じて固定されるので、さらに活動協定締結団体を増やすべく、取組みを進め、谷津田の保全活動の参加者を確保していくこととする。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	谷津田の保全と活用の推進	谷津田保全協定の締結	42.8ha	9ha　拡大	51.8ha	51.2ha	概ね達成	840
2	谷津田の保全と活用の推進	NPO団体等への活動支援	1団体	3団体増	4団体	3団体　★	未達成	

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	大草谷津田いきものの里における自然観察会事業	毎月第1･3日曜日(年約20回)開催	年22回	継続	継続	継続	達　成	132
2	自然保護ボランティア育成講座	全6回の連続講座の開催	年6回	継続	継続	継続	達　成	620

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	１－３　環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	１－３－１　低炭素社会の実現に向けた取組みの推進

指標NO	14

指標名	日頃、省エネルギーに取り組んでいる	単位	%

担当局（区）	環境局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	72.0	76.0	80.0	×
現状値	67.0	56.3	－	－	

目標設定の考え方	低炭素社会の実現に向け、大多数の市民が省エネルギーに取り組む社会の形成を目指し、目標値を設定した。

【達成状況の分析】

平成23年度当時は23年3月に発生した、東日本大震災、また、これに伴う原子力発電事故により、計画停電等や電力の安定供給が懸念されたことから、社会全体が省エネルギーに取り組む機運が高まっていた。
26年度は震災から3年以上経過し、また、電力の安定供給の懸念が低くなったことから、市民の省エネルギーに対する関心は、23年度と比較し、やや低くなったものと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

市内の家庭における温室効果ガス排出量は増加傾向であり、低炭素社会の実現には市民の省エネルギーに取り組む意識の向上は重要である。
九都県市や千葉市地球温暖化対策地域協議会等と連携し、引き続き節電や省エネキャンペーンなどの啓発活動を実施する。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地球温暖化対策の推進	地球環境保全協定の締結	900社	150社	1,050社	910社　★	未達成	0
2	環境配慮活動の推進	環境マネジメントシステムの適用	230施設	290施設	520施設	470施設	概ね達成	0
3	緑化意識の普及啓発	緑のカーテンの実施（公共施設）	228か所	20か所/年増	288か所	192か所	未達成	0
4	中心市街地の緑化の推進	屋上・壁面緑化への助成	―	5件／年	15件	助成　2件	未達成	912

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	環境カレンダー作成事業	作成配布	18,000部	72,000部	24,000部	24,000部	達　成	4,659
2	環境月間記念事業	環境フェスティバル（参加者数）	166人	1,500人	500人	401人	未達成	400
3	地域環境保全自主活動事業補助金	補助金交付	3団体	２２団体	８団体	２団体	未達成	729
4	環境教育等推進	公民館講座実施支援（参加者数）	１３３人	４５０人	１８０人	130人	未達成	244
5	環境教育教材作成	副教材配布	各10,000部	各29,000部	各9,500部	各9 ,500部	達　成	4,158

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	１－３　環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	１－３－１　低炭素社会の実現に向けた取組みの推進

指標NO	15

指標名	温室効果ガス排出量削減率	単位	%

指標の説明	市内の産業部門をのぞく温室効果ガス排出量の基準年度（2007年度）に対しての削減割合	担当局（区）	環境局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	ー	―	平成28年度以降に目標値設定	平成28年度以降に目標値設定	
現状値	6.8	3.0	－	－	

目標設定の考え方	国の温暖化対策を踏まえて、今後本市における温暖化対策にかかる目標設定を行う。

【達成状況の分析】

「現状値は26年度末に確定した24年度の排出量であり、中間評価の27年度の数値が確定するのは29年3月となる」
　市域から排出される温室効果ガスを減らすため、「太陽光発電設備設置助成の推進」や「公共施設への太陽光発電設備の推進」など、再生可能エネルギーの利用促進を図っているところである。
　しかしながら、原子力発電施設の稼働停止に伴い、火力発電施設の稼働割合が高まっていることから、単位電力量に対する二酸化炭素排出量は増加しており、温室効果ガス排出量に大きく影響していると考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

　国が2030年までの温室効果ガスの排出削減目標及び電源構成比率を示したことから、様々な施策が講じられることが期待される。
　市においてもこれを踏まえ、新たに「千葉市地球温暖化対策実行計画」を策定し、太陽光発電設備設置費助成など、これまでの事業を引き続き推進するとともに、温室効果ガス排出量の削減の施策を講じる。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地球温暖化対策の推進	地球環境保全協定の締結	900社	150社	1,050社	910社　★	未達成	0
2	環境配慮活動の推進	環境マネジメントシステムの適用	230施設	290施設	520施設	470施設	概ね達成	0
3	再生可能エネルギーの推進	再生可能エネルギー設備の設置促進	―	調査 専門委員会の設置・運営 設置促進	設置促進	設置促進	達　成	2,323
4	太陽光発電設備設置助成の推進	助成件数 （戸建） （分譲マンション）	1,048件 ー	500件／年 1件／年	2,548件 3件	（戸建）　2,689件 （分譲マンション）　0件	概ね達成	170,555
5	太陽熱利用給湯システム設置助成の推進	助成件数	―	50件/年	150件	個人住宅　35件	未達成	2,620
6	公共施設への太陽光発電設備設置の推進	公共施設への太陽光発電設備の整備	27か所	6か所	33か所	43か所	達　成	0
7	下水道施設の地球温暖化対策	南部浄化センター消化タンク	躯体完了	電気設備・消化ガス機械設備 撹拌機機械・電気設備改造	電気設備・消化ガス機械設備　完了 撹拌機機械・電気設備改造　完了	南部浄化センター消化タンク 電気設備・消化ガス機械設備　完了 撹拌機機械・電気設備改造　完了	達　成	2,599,823
8	自動車公害防止対策の推進	低公害車導入の助成	25台	18台	43台	28台	未達成	0

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	環境カレンダー作成事業	作成配布	18,000部	72,000部	24,000部	24,000部	達　成	4,659
2	環境月間記念事業	環境フェスティバル （参加者数）	166人	1,500人	500人	401人	未達成	400

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	1－3　環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	1－3－1　低炭素社会の実現に向けた取組みの推進

指標NO	16

指標名	再生可能エネルギー等の導入量	単位	ﾒｶﾞﾜｯﾄ

指標の説明	市域に導入された再生可能エネルギー等（太陽光発電設備及びコージェネレーションシステム）の導入量	担当局（区）	環境局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	ー	336	518	700	△
現状値	148	205	－	－	

目標設定の考え方	市域の住宅や市有施設などへの太陽光発電設備やコージェネレーションシステムの導入を促進することとし、目標値を設定した。

【達成状況の分析】

分譲マンションへの補助実績はないものの「太陽光発電設備設置助成の推進」や「公共施設への太陽光発電設備の推進」など、再生可能エネルギー設備の設置促進は着実に推進し、再生可能エネルギー等の導入量も年々増加しているが、目標値を達成できなかった。

なお、「太陽光発電設備設置助成の推進」の進捗については、分譲マンションは共用部分（集会所やエントランス等）に係る設備を対象とした助成であり、戸建と分譲マンションの１件あたりの助成施設規模は最大3kWと同等であるため、分譲マンションの助成件数のH26年目標は「未達成」であるものの、「再生可能エネルギー等の導入量」の観点から件数全体での進捗とし「概ね達成」としている。

このように、指標を構成する事業は「達成」や「概ね達成」の進捗ではあるが、目標値まで到達しなかった原因として、すでに国の設備認定を受けている太陽光発電設備のうち、実際に稼働している設備は3割程度(26年度末)であり、設備認定を受けたうえで着工に入らない事業者が存在することが原因の一つと考えられる。

再生可能エネルギーの推進を目的に策定した「千葉市再生可能エネルギー等導入計画」を基に、公共施設の屋根貸しによる太陽光発電設備の設置、太陽光発電ビジネスマッチング事業等により、再生可能エネルギー等の導入量の増加に努める。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	再生可能エネルギーの推進	再生可能エネルギー設備の設置促進	―	調査 専門委員会の設置・運営 設置促進	設置促進	設置促進	達　成	2,323
2	太陽光発電設備設置助成の推進	助成件数 （戸建） （分譲マンション）	1,048件 ー	500件／年 1件／年	2,548件 3件	（戸建）　2,689件 （分譲マンション）　0件	概ね達成	170,555
3	公共施設への太陽光発電設備設置の推進	公共施設への太陽光発電設備の整備	27か所	6か所	33か所	43か所	達　成	0

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

政策評価シート 【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	１－３　環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	１－３－２　循環型社会の実現に向けた取組みの推進

指標NO	17

指標名	日頃、ごみの量を減らすことや、リサイクルに取り組んでいる	単位	%

担当局（区）	環境局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	74.0	77.5	80.0	△
現状値	69.7	69.9	－	－	

目標設定の考え方	ごみの一層の減量と、安定かつ継続的なごみ処理体制の確立を目指し、目標値を設定した。

【達成状況の分析】

焼却ごみ1/3削減を目標に掲げ、「ごみ減量「ちばルール」の推進」や「3R教育・学習の推進」により、市民や事業者とごみの排出削減の取組みを推進し、事業進捗は概ね順調だった一方で、「ごみ減量・再資源化の推進」の事業進捗は未達成だった。特に、ごみ資源・再資源化の推進のうち家庭用生ごみ処理機器等購入助成の取組みについて、補助額の引き上げを行い制度の拡充を行ったが、申請数が伸びなかったこともあり、指標の向上につながらなかったと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

目標未達成事業である、ごみ減量「ちばルール」の推進（商店会との協定締結）及びごみ減量・再資源化の推進事業（①家庭用生ごみ処理機器等購入助成　②生ごみ分別収集　③剪定枝等循環システム）について、積極的に広報等を行い、ごみの減量・再資源化に努める。

また、ごみ減量・再資源化活動の顕著な団体への表彰を継続して行うとともに、分別説明会の開催により、参加団体の分別促進を図る。あわせて、第2次実施計画事業の集団回収未登録団体への説明会の開催により、新規登録の促進を図り、再資源化を推進する。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ごみ減量「ちばルール」の推進	協定締結店の拡大	117店舗	12店舗増	129店舗	151店舗	達　成	0
2	ごみ減量「ちばルール」の推進	商店会との協定締結	―	15商店会	15商店会	5商店会	未達成	0
3	3R教育・学習の推進	小学生のごみ出しチェック隊の認定者	830人	900人増	1,730人	1,731人	達　成	0
4	3R教育・学習の推進	チャレンジ1000による自治会への説明会	867自治会	201自治会	1,068自治会	1,068自治会	達　成	0
5	ごみ減量・再資源化の推進	家庭用生ごみ処理機器等購入助成	984基/年	300基/年増	1,284基/年	456基/年	未達成	36,477
6	ごみ減量・再資源化の推進	生ごみ分別収集（4地区）	250トン	50トン/年増	300トン/年	247トン/年	未達成	
7	ごみ減量・再資源化の推進	剪定枝等循環システム	―	13トン	13トン	0トン	未達成	
8	古紙・布類の資源化の推進	活動の顕著な団体への表彰	―	60団体	60団体	44団体	未達成	0

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	GO！GO！へらそうくん発行事業	発行部数	347，000部	1，080，000部	360，000部	324，000部	概ね達成	7,588
2	ごみ減量啓発冊子製作事業	発行部数	20，000部	13，500部	4，500部	0部	中　止	0
3	ごみ分別スクール	ごみ分別スクール	118校（参加児童数8，937人）	市内小学校117校/年	市内全小学校	市内全小学校（114校）	達　成	7,410

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	１－３　環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	１－３－２　循環型社会の実現に向けた取組みの推進

指標NO	18

指標名	市民1人1日あたりのごみ排出量	単位	g/人・日

指標の説明	ごみ総排出量（資源物を含む）の年間値を人口、日数（365日または366日）で除した値	担当局（区）	環境局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	1,047	1,045	1,043	○
現状値	1,094	1,051	－	－	

目標設定の考え方	家庭ごみ手数料徴収の導入検討や、さらなるごみの分別や再資源化に向けた取組みなどにより、排出量の削減を図ることとして目標値を設定した。

【達成状況の分析】

ごみ減量「ちばルール」の推進や3R教育・学習の推進等の啓発事業に加えて、家庭ごみ手数料徴収制度の導入により、ごみ排出量は平成２３年度と比べて大幅に削減し、平成２６年度末のごみ排出量は目標値を僅かに上回ったものの、概ね目標を達成した。

【課題及び今後の取組みの方向性】

目標は概ね達成できたものの、目標未達成となっている事業があることから、該当事業について積極的に広報するとともに、平成２９年３月の「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の改定に向けて、さらなるごみ減量施策の検討を行う。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ごみ減量「ちばルール」の推進	協定締結店の拡大	117店舗	12店舗増	129店舗	151店舗	達　成	0
2	ごみ減量「ちばルール」の推進	商店会との協定締結	―	15商店会	15商店会	5商店会	未達成	0
3	3R教育・学習の推進	小学生のごみ出しチェック隊の認定者	830人	900人増	1,730人	1,731人	達　成	0
4	3R教育・学習の推進	チャレンジ1000による自治会への説明会	867自治会	201自治会	1,068自治会	1,068自治会	達　成	0
5	ごみ減量・再資源化の推進	家庭用生ごみ処理機器等購入助成	984基/年	300基/年増	1,284基/年	456基/年	未達成	36,477
6	ごみ減量・再資源化の推進	生ごみ分別収集（4地区）	250トン	50トン/年増	300トン/年	247トン/年	未達成	
7	ごみ減量・再資源化の推進	剪定枝等循環システム	―	13トン	13トン	0トン	未達成	
8	古紙・布類の資源化の推進	活動の顕著な団体への表彰	―	60団体	60団体	44団体	未達成	0

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	GO！GO！へらそうくん発行事業	発行部数	347，000部	1，080，000部	360，000部	324，000部	概ね達成	7,588
2	ごみ減量啓発冊子製作事業	発行部数	20，000部	13，500部	4，500部	0部	中　止	0
3	ごみ分別スクール	ごみ分別スクール	118校（参加児童数8，937人）	市内小学校117校/年	市内全小学校	市内全小学校（114校）	達　成	7,410

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	１－３　環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	１－３－２　循環型社会の実現に向けた取組みの推進

指標NO	19

指標名	ごみの再生利用率	単位	%

指標の説明	ごみ総排出量（資源物を含む）に対する再生利用量の割合	担当局（区）	環境局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	33.8	34.6	35.0	○
現状値	32.0	33.7	－	－	

目標設定の考え方	古紙・布類の再資源化のさらなる取組みにより値の向上を図ることとして目標値を設定した。

【達成状況の分析】

ごみ減量「ちばルール」の推進等の啓発事業に加えて、家庭ごみ手数料徴収制度の導入により、平成26年度末の再生利用率は33.7%となり、目標を達成できた。

【課題及び今後の取組みの方向性】

計画事業の「古紙・布類の資源化の推進」等目標未達成となっている事業について積極的に広報し、目標達成を目指すとともに、平成29年度の「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の改定に向けて、さらなる再生利用率向上のための施策の検討を行う。

また、ごみ減量・再資源化活動の顕著な団体への表彰を継続して行うとともに、分別説明会の開催により、参加団体の分別促進を図る。あわせて、第2次実施計画事業の集団回収未登録団体への説明会の開催により、新規登録の促進を図り、再資源化を推進する。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ごみ減量「ちばルール」の推進	協定締結店の拡大	117店舗	12店舗増	129店舗	151店舗	達　成	0
2	ごみ減量「ちばルール」の推進	商店会との協定締結	―	15商店会	15商店会	5商店会	未達成	0
3	ごみ減量・再資源化の推進	家庭用生ごみ処理機器等購入助成	984基/年	300基/年増	1,284基/年	456基/年	未達成	
4	ごみ減量・再資源化の推進	生ごみ分別収集（4地区）	250トン	50トン/年増	300トン/年	247トン/年	未達成	36,477
5	ごみ減量・再資源化の推進	剪定枝等循環システム	―	13トン	13トン	0トン	未達成	
6	古紙・布類の資源化の推進	活動の顕著な団体への表彰	―	60団体	60団体	44団体	未達成	0

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	新浜リサイクルセンター管理運営	新浜リサイクルセンター管理運営	実施	実施	実施	実施	達　成	0
2	新浜リサイクルプラザ	施設見学の受入（工場の運転状況の見学者数）	1,400名/年	4,200名	1,400名/年	648名／年	未達成	0

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	１－３　環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	１－３－３　良好な生活環境の確保

指標NO	20

指標名	市内の空気や川などの水はきれいだと感じる	単位	%

担当局（区）	環境局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	29.0	35.0	40.0	○
現状値	23.0	27.3	－	－	

目標設定の考え方	良好な生活環境の確保は重要であることから、二酸化窒素の削減や、工場・事業場への立入指導などを通じて値の向上を図ることを目指し、目標値を設定した。

【達成状況の分析】

目標値には到達しなかったが、平成23年から4.3%の上昇が見られ、低公害車の普及などによる良好な大気環境づくりや、合流式下水道の改善など水環境づくりを推進する施策により、周辺環境がきれいと感じる市民が増加していると考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

中間評価値は4.3ポイント上昇しており、大気環境や水環境は全体的に改善傾向であり、「周辺環境がきれい」と感じる市民が増加している。一方、光化学スモッグの発生要因である光化学オキシダントは、環境目標値未達成、微小粒子状物質（PM2.5）についても環境目標値の達成率が約45%と低い状況にあり、今後も関連事業をより一層推進し、目標の達成を目指す。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	大気環境測定の充実	PM2．５（微量粒子状物質）の成分分析	―	1地点　4回／年	1地点　4回／年	1地点　4回／年	達　成	15,600
2	水環境保全対策の推進	河川浄化実践活動	3水域	2水域	5水域	6水域　★	達　成	0
3	川や海の水質保全（合流式下水道の改善）	合流式下水道の改善	取水工事	中央浄化センター雨水滞水池　（機械・電気設備工事）、増補管工事	改善完了	改善完了	達　成	1,594,659
4	川や海の水質保全（高度処理施設の整備）	南部浄化センターC系水処理施設	機械・電気設備工事	機械・電気設備工事	一部完成	一部完成 汚泥処理施設撤去	達　成	2,223,245

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	水質汚濁対策事業	工場・事業場への立入検査	１１８件	１２０件／年	１２０件	１２１件／年	達　成	25,114
2	生活排水対策事業	施設設置河川の水質汚濁に係る環境目標値の達成率	１００％	１００％	１００％	100%	達　成	35,654
3	低公害車普及促進事業	低公害車普及率	６１．６％	６５．６％	８０％	71.6%	未達成	806
4	大気汚染対策事業	ばい煙等の測定 （排出基準の順守達成状況）	１００％	１００％	１００％	100%	達　成	2,513

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	１－３　環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	１－３－３　良好な生活環境の確保

指標NO	21

指標名	大気の環境目標値達成項目の割合（平成23年度達成4項目）	単位	%

指標の説明	千葉市環境基本計画による環境目標値を設定している大気に係る全7項目のうち、平成23年度で達成している4項目の達成割合（二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、一酸化炭素、降下ばいじん）	担当局（区）	環境局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	現状維持 （100）	現状維持 （100）	現状維持 （100）	◎
現状値	100	100	－	－	

目標設定の考え方	千葉市環境基本計画による環境目標値を設定している大気に係る全7項目のうち、平成23年度で達成している4項目について、各種取組みを通じ、今後10年間も環境目標値達成維持を目指す。

【達成状況の分析】

4項目は、全ての測定局で環境目標値を達成している。工場・事業場への立入検査等により、低硫黄燃料の使用や、ばい煙排出を抑制したこと、自動車排ガスが改善傾向にあることが理由と考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

引き続き、工場・事業場に対し、環境関係法令等に基づき、立入検査等を実施し、大気汚染物質の排出抑制を推進する。また、低公害車の普及を促進し、自動車由来の大気汚染物質の排出を抑制する。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	低公害車普及促進事業	低公害車普及率	61．6%	65．6%	80%	71.6%	未達成	806
2	大気汚染対策事業	ばい煙等の測定 （排出基準の順守達成状況）	100%	100%	100%	100%	達　成	2,513

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	１－３　環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	１－３－３　良好な生活環境の確保

指標NO	22

指標名	大気の環境目標値達成項目の割合（平成23年度未達成3項目）	単位	%

指標の説明	千葉市環境基本計画による環境目標値を設定している大気に係る全7項目のうち、平成23年度で未達成である3項目の達成割合（二酸化窒素、微小粒子状物質、光化学オキシダント）	担当局（区）	環境局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	―	33.3	66.6	
現状値	0	33.3	－	－	

目標設定の考え方	千葉市環境基本計画による環境目標値を設定している大気に係る全7項目のうち、平成23年度で未達成となっている二酸化窒素（NO2）、微小粒子状物質（PM2.5）及び光化学オキシダントの3項目について、各種取組みを通じ、今後10年間で環境目標値達成項目の増加を目指す。

【達成状況の分析】
二酸化窒素は緩やかな良化傾向を示しており、平成26年度末に監視開始後初めて、全測定局で環境目標値を達成した。
微小粒子状物質（PM2.5）は平成23年度から監視を開始し、年々良化傾向を示しており、平成26年度末にこれまで最高の44.4%の達成率を示した。
光化学オキシダントは依然として全局未達成状況である。

環境目標値の維持、達成のため監視活動を継続するとともに、次の取組みが必要である。
二酸化窒素については、引き続き環境目標値達成状態を維持できるよう、現行施策を継続していく。
微小粒子状物質（PM2.5）は、環境目標値の達成に向け、有効な排出削減対策を検討していく。
光化学オキシダントは、全測定局で環境目標値を達成していないことから、現行の施策を継続するとともに、国等の検討状況を注視し、原因物質削減に向けた新たな取組みを検討していく。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	大気環境測定の充実	PM2．5（微量粒子状物質）の成分分析	―	1地点　4回／年	1地点　4回／年	1地点　4回／年	達　成	15,600

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	低公害車普及促進事業	低公害車普及率	61．6%	65．6%	80%	71.6%	未達成	806
2	大気汚染対策事業	ばい煙等の測定（排出基準の順守達成状況）	100%	100%	100%	100%	達　成	2,513

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	１－３　環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	１－３－３　良好な生活環境の確保

指標NO	23

指標名	水質の環境目標値達成項目の割合（平成23年度達成31項目）	単位	%

指標の説明	千葉市環境基本計画による環境目標値を設定している水質に係る全36項目のうち、平成23年度で達成している31項目の達成割合（カドミウムほか30項目）	担当局（区）	環境局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	現状維持 （100）	現状維持 （100）	現状維持 （100）	◎
現状値	100	100	－	－	

目標設定の考え方	千葉市環境基本計画による環境目標値を設定している水質に係る全36項目のうち、平成23年度で達成している31項目について、各取組みを通じ、今後10年間も環境目標値達成維持を目指す。

【達成状況の分析】

平成23年度で達成している31項目については、各種取組の結果、全地点で環境目標値の達成を維持している。

【課題及び今後の取組みの方向性】

引き続き、現状維持のため、工場・事業場に対し、環境関係法令等に基づく立入検査等を実施、水質汚濁物質の排出の抑制を促すなど、現在推進している施策を継続していく。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	合併処理浄化槽の設置助成	合併処理浄化槽設置助成	3,409基	36基	3,445基	3,427基	未達成	0
2	川や海の水質保全（合流式下水道の改善）	合流式下水道の改善	取水工事	中央浄化センター雨水滞水池（機械・電気設備工事）、増補管工事	改善完了	改善完了	達　成	1,594,659
3	川や海の水質保全（高度処理施設の整備）	南部浄化センターC系水処理施設	機械・電気設備工事	機械・電気設備工事	一部完成	一部完成 汚泥処理施設撤去	達　成	2,223,245

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	水質汚濁対策事業	工場・事業場への立入検査	１１８件	１２０件／年	１２０件	１２１件／年	達　成	25,114
2	生活排水対策事業	施設設置河川の水質汚濁に係る環境目標値の達成率	１００％	１００％	１００％	100%	達　成	35,654
3	環境保全型農業推進（土壌診断業務）	土壌診断の実施	1,291検体/年	3,900検体	1,300検体/年	1,040検体/年	未達成	7,853

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	１－３　環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	１－３－３　良好な生活環境の確保

指標NO	24

指標名	水質の環境目標値達成項目の割合（平成23年度未達成5項目）	単位	%

指標の説明	千葉市環境基本計画による環境目標値を設定している水質に係る全36項目のうち、平成23年度で未達成である5項目の達成割合（BOD、大腸菌群数、COD、全窒素、全りん）	担当局（区）	環境局

目標設定の考え方	千葉市環境基本計画による環境目標値を設定している水質に係る全36項目のうち、平成23年度で未達成となっている河川のBOD、大腸菌群数、海域のCOD、全窒素、全りんについて、各種取組みを通じ、今後10年間で環境目標値達成項目の増加を目指す。

【達成状況の分析】

河川のBODについては、下水道の整備や合併処理浄化槽の設置等の生活排水対策が進んだ結果、平成２６年度は全ての測定地点で環境目標値を達成した。一方、それ以外の４項目については、環境目標値を達成できなかった。

【課題及び今後の取組みの方向性】

河川の大腸菌群数が環境目標値を超過している原因としては、自然的要因と畜産排水の影響等が考えられる。現在、国において畜産排水以外の自然的要因にも影響してしまう「大腸菌群数」から畜産排水の影響を判別し易い「大腸菌数」へと評価方法の見直しが行われており、本市も「大腸菌群数」と「大腸菌数」の並行調査を行うとともに、流域の測定地点を増やすことで、原因究明のための調査を進めている。

また、海域のCOD、全窒素、全りんについては、一部測定地点で達成することがあるものの、達成状況を安定して維持できていない。目標の達成に向けて、内陸部から流入する汚濁負荷量を削減する必要があることから、生活排水等を含めた対策を一層推進していくとともに、千葉市をはじめとする湾岸域の自治体をはじめ、他の自治体等と連携した取組み（九都県市首脳会議、東京湾岸自治体環境保全会議、東京湾再生推進会議、東京湾再生官民連携フォーラム）を推進していく。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	合併処理浄化槽の設置助成	合併処理浄化槽設置助成	3,409基	36基	3,445基	3,427基	未達成	0
2	川や海の水質保全（合流式下水道の改善）	合流式下水道の改善	取水工事	中央浄化センター雨水滞水池（機械・電気設備工事）、増補管工事	改善完了	改善完了	達　成	1,594,659
3	川や海の水質保全（高度処理施設の整備）	南部浄化センターC系水処理施設	機械・電気設備工事	機械・電気設備工事	一部完成	一部完成 汚泥処理施設撤去	達　成	2,223,245

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	水質汚濁対策事業	工場・事業場への立入検査	１１８件	１２０件／年	１２０件	１２１件／年	達　成	25,114
2	生活排水対策事業	施設設置河川の水質汚濁に係る環境目標値の達成率	１００％	１００％	１００％	100%	達　成	35,654
3	環境保全型農業推進（土壌診断業務）	土壌診断の実施	1,291検体/年	3,900検体	1,300検体/年	1,040検体/年	未達成	7,853

政策評価シート 【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	１－３　環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る
施策	１－３－４　環境保全・創造活動の推進

指標NO	25

指標名	この１年間に、美化・環境保全活動をしたことがある	単位	%

担当局（区）	環境局

区　分	H23末 現状値	H27中間評価 （H26末値）	H30中間評価 （H29末値）	H34最終評価 （H33末値）	達成状況
目標値	―	25.0	27.5	30.0	×
現状値	22.5	21.0	－	－	

目標設定の考え方	今後とも市民との協働による美化・保全活動を推進していくこととし、目標値を設定した。

【達成状況の分析】

「環境学習モデル校事業」を通した環境保全活動や「美しいまちづくりに係る活動支援」としてボランティア活動者への清掃用具支給による美化活動の活性化を図ってきたが、幅広く市民に浸透しなかったものと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

市民が美化・環境配慮活動に関心を持つよう、引き続き「環境学習モデル校事業」や「美しいまちづくりに係る活動支援」事業などを実施しつつ、「環境フェスティバル」や「区民まつり」などを活用した市民啓発を推進していく。

指標を構成する事業

計画事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	環境学習・環境教育の推進	環境学習モデル校指定事業	小学校　96校 中学校　36校	小学校　18校 中学校　18校	小学校　114校 中学校　54校	小学校　114校 中学校　54校	達　成	0

その他事業

（千円）

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量（H24～26）	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	美しい街づくりに係る活動支援	ボランティア活動者への清掃用具支給	148団体	484団体	170団体	484団体	達　成	4,063
2	地域環境保全自主活動事業補助金	補助金交付	3団体	22団体	8団体	2団体	未達成	729
3	環境教育等推進	公民館講座実施支援（参加者数）	133人	450人	180人	130人	未達成	244
4	環境教育教材作成	副教材配布	各10,000部	各29,000部	各9,500部	各9 ,500部	達　成	4,158